

NC7500の特徴

NC7500型は、鑑定と同時に紙幣番号記録及び分類が可能な高速自動給紙タイプの紙幣鑑定機です。最大32通貨の設定が可能で、フィットネス機能により鑑定と同時に正損監査、紙幣番号記録及び分類が可能な高速自動給紙タイプの紙幣鑑定機です。

買取り紙幣の再販を行う場合、正損監査が非常に煩雑な業務といえますが、本機では鑑定と同時に紙幣の破れ、角折れ、汚れ、シミ、テープ券を検知するため、業務の省力化に大きく貢献します。リジェクトポケット装備により作業をノンストップで行うことができます。さらに紙幣番号の記録が可能で、ジャーナル印字（外付けプリンター）あるいはPC接続データ保存が可能です。紙幣番号はFAX(イメージ)、OCR(デジタル)、その両方の3モードがあり、証拠保存と検索に適しています。記録内容は、金種と紙幣番号及び金種別の枚数・金額の合計です。MICR読取り機能、高速スキャン機能を搭載し、小切手の金額読取りと画像スキャンが可能です。本機は最近偽造券が多発している旧券（聖徳太子一万円）対応、新券（渋沢栄一万円）にも対応予定です。

任意の場所で紙幣番号をスマホ(またはPC)にダウンロード(紙幣番号、取引日等のキーワード対応)



クラウドサーバーに番号データを送信

紙幣番号レファレンスシステム
(NC7500型PC接続で実現)

充実の操作タッチパネル



オペレーター2名で1台をシェア使用できます。

フルカラーグラフィックディスプレイ

仕様

適合通貨

番号記録=日銀券、米ドル、ユーロ、他(順次増大中)
真偽鑑定=日銀券、米ドル、ユーロ、など32通貨に対応(適合通貨順次増大中)

鑑定方法

紫外線(UV)=用紙・インクの蛍光、透過度
赤外線(IR)=赤外線反射、吸収の差異、透過度
磁気(MG、MR)=磁性インクの状態を検査
イメージ(DUAL CIS)=金種検知(4方向対応)
厚みセンサー=厚み検知
MICR読取り=小切手対応

速度

正損監査=1200枚/分(フィットネス機能、金種混合紙幣対応)
金種読取=1600枚/分(金種混合紙幣対応)
番号読取=1200枚/分(金種混合紙幣対応)
紙幣計数=1600枚/分(金種混合紙幣対応)

挿入方法

鑑定、番号記録とも4方向自動給紙垂直搬送(表裏、上下)

紙幣サイズ

60X85X0.08mm~100X190X0.13mm

収納枚数

ホッパー=500枚、リジェクトポケット=100枚、スタッカー=250枚

検知機能

異金種、表裏、上下を識別

番号読取

DUAL CISセンサー

適合PC

Windows-7~以降

キャリブレーション

センサー適正状態調整機能

バージョンアップ

PC接続によるソフトウェアのダウンロード

アラーム

ブザー音、点滅=偽造券検知、エラー検知、キータッチ

サイズ

330幅×330奥行×350高さ(mm) 重量18kg

電源

100V50/60hz max150w

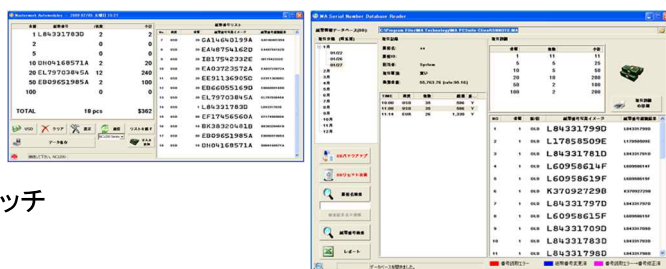
インターフェイス

USB×1/RS232×2

LAN×1/ミニUSB×1



PC接続用ソフトウェア



日本シーディーアール株式会社

TEL: 03-3541-1951 MAIL: info@cdrjapan.co.jp